

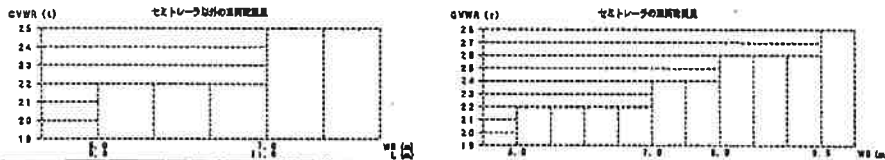
小平産業株式会社 殿  
改造等概要説明書(改造自動車等審査結果通知書)

- (指示事項) 1. 本改造車両は、24国自審 第440号、新型自動車番号 新06992号、類別2001の車両に限る。  
2. 本車両は、車台番号KFL32-1256の1台限りとする。  
3. 検査の際には、改造部分詳細図を添付すること。  
4. 車両は、車両総重量(分割可能な貨物) [004] について保安基準の緩和を要す。  
5. けん引自動車は、いすゞQKG-EXY52AJ (第5軸荷重 11200 kg) 類別2041で検討した。

主要諸元比較表 標準車両の類別等を記載する。(2001)

項目	標準車	改造車	基準・限度	項目	標準車	改造車	基準・限度
車名	コダイラ	コダイラ		乗車定員人	—	—	
型式	KFL32	KFL32改		最大積載量 kg	28200	25100	
自動車の種別	普通	普通		前前軸重	9500	9300	≦10t (11990 kg)
用途	(けん引引6輪)	(けん引引6輪)		前後軸重	8800	8900	≦10t (10180 kg)
車体の形状	セミトレー	ダンプセミトレー		車両総重量 kg	8800	8895	≦10t (10180 kg)
燃料の種類	—	—		後後軸重	8800	8895	≦10t (10180 kg)
原動機型式	—	—		計	35900	35990	≦20t~28t (39480 kg)
軸距	12.515 (11.935)	9.495 (8.785)	≦(12m)	最大安定傾斜角度	左 49 ※1 右 49 ※1	44 ※2 44 ※2	一般≧35° その他≧30°
長さ	2.490	2.490	≦2.5m	前軸軸荷重	—	—	( — kg)
幅	2.275	3.550	≦3.8m	前換軸	11R22.5-14PR	11R22.5-14PR	(10000 kg)
軸距	6.910+1.300+1.300=9.510	4.700+1.300+1.300=7.300		後換軸	11R22.5-14PR	11R22.5-14PR	(10000 kg)
輪距	1.845	1.845		後換軸	11R22.5-14PR	11R22.5-14PR	(10000 kg)
室内又は荷台の内寸	12.180	8.500		前軸軸荷重	—	—	≧18.20%
側面の寸法	2.440	2.200		側合積率	—	—	
車両重量 kg	2110	2830		リヤオーバーハング m	2.425	1.300	≦1.7 (11/242/L (3.650 m))
	2110	2830		荷台オフセット m	2.365	1.650	
	2110	2830		最小回転半径 m	10.2 ※1	8.4 ※2	≦12m
計	7700	10890					

車両総重量・軸重等の基準



隣接軸距	1.8m未満	1.8m以上	1.3m以上1.8未満(1の車軸にかかる荷重が9.5t以下である場合)
隣接軸重	kg ≦ 18t	kg ≦ 20t	18150 kg ≦ 19t

能力強度等検討書

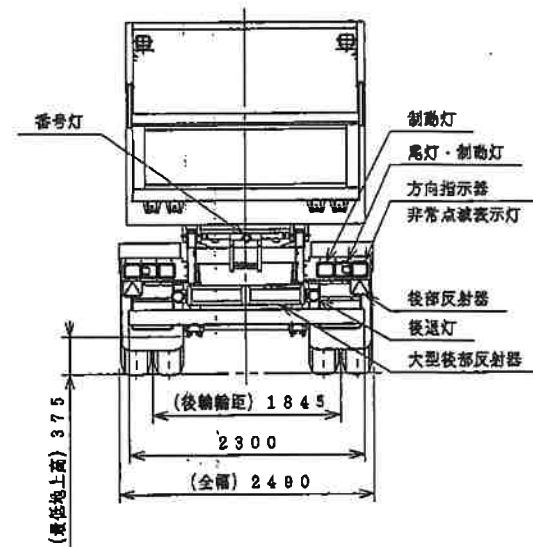
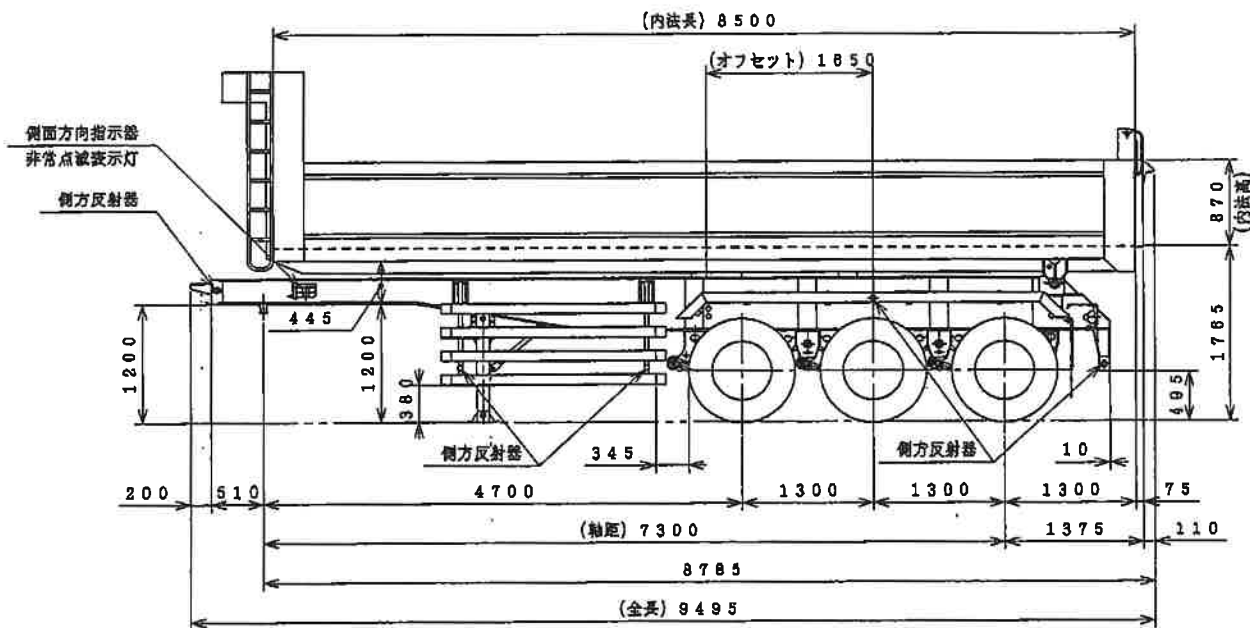
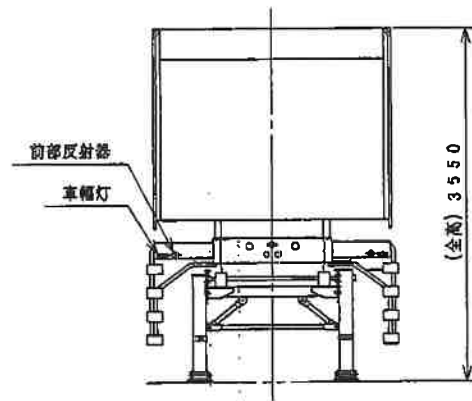
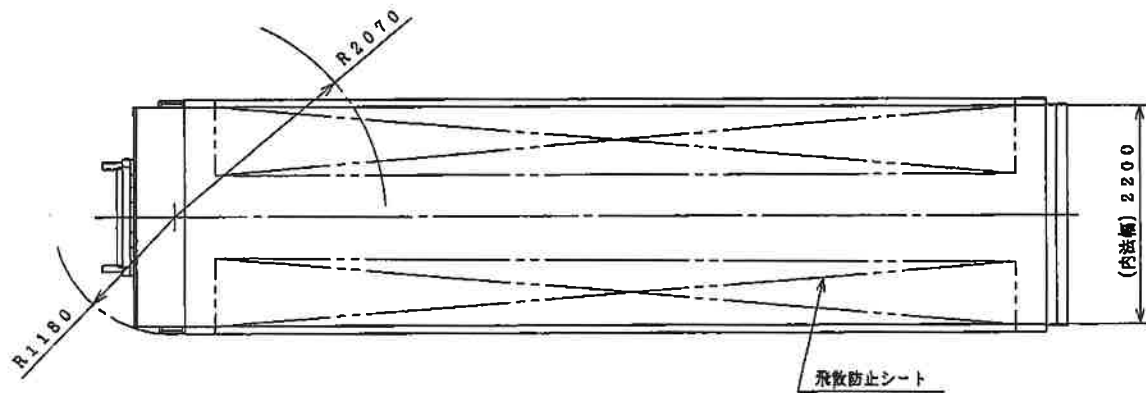
制動力	踏力 — N 60 km/h 36.8m	車軸強度	$\sigma_a/\sigma$ — / — = — ≧ 1.6
	空気圧 700 kPa	操縦装置強度	$\sigma_a/\sigma$ — / — = — ≧ 1.3
回転数	$N_c/N_p$ — / — = — ≧ 1.3	緩衝装置強度	$\sigma_a/\sigma$ 1520 / 947.05 = 1.604 ≧ 1.6
強度	$\sigma_a/\sigma$ — / — = — ≧ 1.6	制動装置強度	$\sigma_a/\sigma$ 1370 / 947.05 = 1.44 ≧ 1.3
車軸強度	$\sigma_a/\sigma$ 490 / 247.58 = 1.97 ≧ 1.6	連結装置強度	$\sigma_a/\sigma$ — / — = — ≧ 1.6
	$\sigma_a/\sigma$ 325 / 247.58 = 1.31 ≧ 1.3		$\sigma_a/\sigma$ — / — = — ≧ 1.6

- 注1. 能力検討欄は、該当しないものは、省略したものは×を記入すること。  
注2. 指示事項欄又は能力強度等検討書欄は、必要に応じて指示欄又は項目を追加・削除することができる。  
注3. 現車審査の際は、通知書及び改造部分詳細図等の添付資料を提示すること。(9. (1)関係)  
注4. ※1はいすゞPDG-EXD52EB, ※2はいすゞQKG-EXY52AJとの連結時を示す。

改造等の概要

目的	本車両は、コダイラKFL32型を基本に、分割可能貨物基準内(あおり型、固縛を前提にしないもの)ダンプセミトレーとして新たに製作されるものです。尚、架装にあたり下記の改造を実施します。
車枠及び車体	軸距間において 2.210m短縮し、軸距を 6.910m+1.300m+1.300m=9.510m から 4.700m+1.300m+1.300m=7.300mに変更します。フロントオーバーハング 0.425m を 0.505mに変更します。リヤオーバーハング 2.365m を 1.050mに変更します。
原動機	
動力伝達装置	
走行装置	
操縦装置	
制動装置	
緩衝装置	コダイラKFL32型セミトレー(24国自審 第440号、新型自動車番号 新06992号、類別2001)のリーフ・スプリング板厚14mmから、アンチコASF280型セミトレー(24国自審 第440号、新型自動車番号 新16745号、類別2001)のリーフ・スプリング板厚13mmに変更します。
連結装置	
燃料装置	
電気装置	

- 注1: 変更のない事項については、斜線を記入又は網掛けを施すこと。  
注2: 届出者は、自動車の点検及び整備に関する情報の提供並びにリコール届出に関する責務があります。なお、リコール届出に関しては、その実施について道路運送車両法(昭和26年6月1日法律第185号)に基づく催告、命令を受ける場合があります。(第57条の2、第63条の2、第63条の3関係)



ユダイラ KFL32改 ダンプセミトレーラ外観四面図

型式:KFL32改  
車体番号:KFL32-1256

重心高	:	1.305 m
主制動能力	:	238730 N
エアタンク容量	:	144 L
エア配管容量	:	3 L
エアチャイムバ容量	:	2.4 L
方向指示器ワット数	:	50 W